

## てがたんレポート Vol. 4 No. 6 (2007年6月：通巻39号)

- ・観察コースと内容：鳥博→3.5.15号線→香取神社→水神山古墳脇→藤棚→遊歩道→親水広場（まとめとお知らせ後解散）
- ・観察日時／天気：2007年6月9日（土）10:00～12:00／晴れ
- ・参加人数：29人（うち小学生1人）
- ・観察案内&記録ボランティア・スタッフ：13人（敬称略・五十音順）：青木義尚、石原直子、伊東茂子、木村稔、小泉伸夫、中西榮子、中野久夫、野口幸子、弘貫さと子、古川克彌、松原昭福、水上海苗、保田行弘、湯瀬一栄
- ・鳥博職員：時田賢一、岡 廣志、斉藤安行

・今回のテーマ：蝶の観察  
・案内人：古川 克彌さん

### 観察記録—6月に観察した生き物リスト—

★観察した生き物（\*印は6/2のてがたん下見で確認した種を加えたものです）

【鳥類】カイツブリ（声）、カワウ、ゴイサギ、カルガモ、キジ（生息痕=雌の尾羽）、オオバン、キジバト、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス

【は虫類】

\*シムグリ、ニホンカナヘビ

【両生類】

アマガエル（幼体から上陸したてのカエル多い）、トウキョウダルマガエル、ウシガエル（声）

【昆虫】

- ・チョウやガの仲間：クロアゲハ、ナガサキアゲハ、キアゲハ（成虫&終齢幼虫）、コムラサキ、サトキマダラヒカゲ、ヤマトシジミ、ルリシジミ、ベニシジミ、キタテハ、モンシロチョウ、スジグロシロチョウ、モンキチョウ、キチョウ、コジャノメ、ピロードハマキ、マイマイガ（幼虫）
- ・甲虫：ニワハンミョウ、センチコガネ、コガタルリハムシ、\*ラミーカミキリ、ジュウサンホシテントウ、ナナホシテントウ、ヒメカメノコテントウ
- ・バッタ：コバネイナゴ（幼虫）、ヒシバッタ、ヤブキリ（幼虫）、ウスイロササキリ（幼虫）、コカマキリ（幼虫）、マダラスズ（声）、キンヒバリ（声）
- ・トンボ：コシアキトンボ（香取神社近くの空き地に数匹の雌が群れ飛び）、シオカラトンボ（水田）
- ・ナナフシの仲間：ナナフシモドキ
- ・カメムシの仲間：ツツジグンバイ
- ・ハチの仲間：ニホンチュウレンジバチ

【クモ】

・クサグモ、ナガコガネグモ（幼体）、\*ササグモの仲間、コガネグモ、ジョロウグモ（幼体）、サツマノミダマシ

【花】

- ・カタバミ、オッチカカタバミ、アカカタバミ、タチイヌノフグリ、トキワハゼ、オニノゲシ、ノゲシ、オオイヌノフグリ、アレチギシギシ、エソノギシギシ、イヌムギ、ネズミムギ、ネズミモチ、ノイバラ、アジサイ（園芸品種植栽）、トキワツユクサ（ノハカタカラクサ：外来種）、イヌタデ、イヌガラシ、スズメノテッポウ、ハナシロウブ（園芸品種植栽）、スイカズラ、シロツメクサ、カワヂシャ、ウラジロチチコグサ、ハハコグサ、ノボロギク、ニワゼキショウ、ハナイバナ、ハキダメギク、ドクダミ、ホタルブクロ、コメツブツメクサ、ヒメジョオン、ハルジオン、オニタビラコ、セイヨウタンポポ、コヒルガモ、ツユクサ、ホトケノザ、キョウチクトウ（園芸品種植栽）、イボタノキ（植栽=ライラックの台木として植栽されたもの）

【木の実や種】

・スミレ、ムク、アレチギシギシ、エソノギシギシ、ギシギシ、イヌホウズキ、ニワトコ、オハビイチゴ、タチツボスミレ、ナガミヒナゲシ、カタバミ

【チョウの仲間の食草・食樹として注目した植物】

- ・カタバミ（ヤマトシジミ）、スミレ（北上してきたツマグロヒョウモン）、ツバキ（チャドクガ）、エノキ（ゴマダラチョウ、テングチョウ、メオオムラサキ）、アレチギシギシとエソノギシギシ（ベニシジミ）、サンショウ（アゲハ、クロアゲハ）、アラカシ（ムラサキシジミの食樹）、サルトリイバラ（ルリタテハ）、カラムシ（アカタテハの食草）、セリ（キアゲハ）、イヌガラシ（スジグロシロチョウ、モンシロチョウ）、シロツメクサ（モンキチョウ）、ヤナギの仲間（ムラサキシジミ）、スイカズラ（メイチモンジチョウ）、カナムグラ（キタテハ）、イボタノキ（ウラゴマダラシジミ）

（注）×はこれまで「てがたん」では確認されなかった種

# 6月の観察アルバム

外花被片、内花被片、隆起、それぞれどの部分か思い出しましょう。その色、形でギシギシを見分けました。



①あいさつ



②カタバミはヤマトシジミ、スミレはツマグロヒョウモンの食草



③チャドクガ幼虫 (危険！)



←アレチギシギシ



←エゾノギシギシ



←ギシギシ



⑤クスノキはアオスジアゲハの食草



⑥参道脇に美しい模様のピロードハマキがいました



⑦サンショウはアゲハやクロアゲハやカラサゲハの食草



⑧エノキはゴマダラチョウ、テングチョウ、オムラサキの食草



⑨サルトリイバラはルリタテハの食草



⑩カナムグラはキタテハの食草



⑪カラムシはアカタテハの食草



⑫セリはキアゲハの食草



⑬トキワツユクサ (ノハカタカラクサ) が咲いていました



⑭イヌガラシはスジグロシロチョウの食草



⑮ハナショウブの葉は両面とも裏とはどいうこと?



⑯ヤナギの仲間はコムラサキの食草



⑰シロツメクサはモンキチョウやツバメシジミの食草



⑱スイカズラはイチモンジチョウの食草



⑲サトキマダラヒカゲはササが食草。

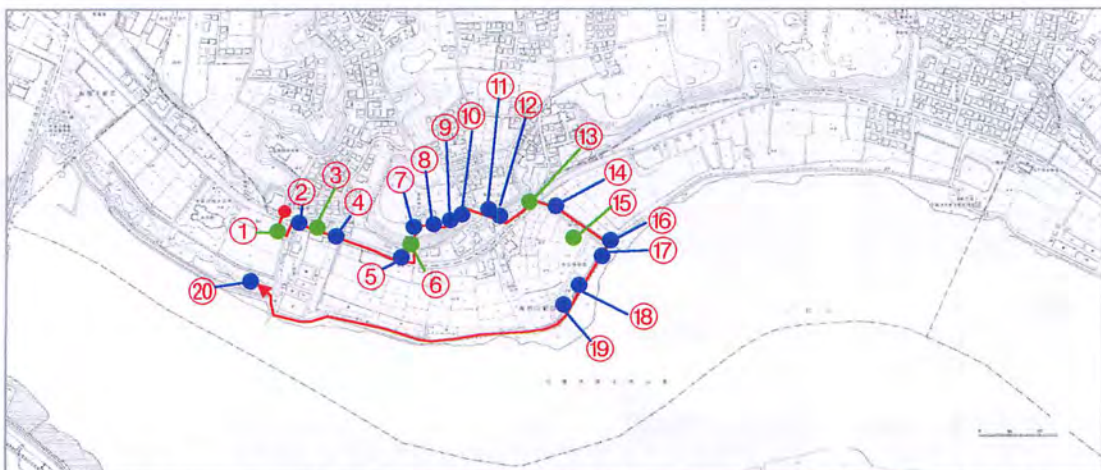


⑳イボタノキはウラゴマダラシジミの食草

鳥の姿はすくなくったのですが、生息の痕跡がありました。



参加者が拾ってくれたキジ雌の尾羽 (中央尾羽とその隣の羽毛)



※てがたんパンフレット6月のこたえーてがたんコースでのチョウの代表的な食草・食樹ー

アゲハ→ミカン類、キアゲハ→セリなど、アオスジアゲハ→クスノキなど、モンシロチョウ→キャベツやナノハナなど、スジグロシロチョウ→イヌガラシやタネツケバナなど、モンキチョウ→シロツメクサなど、キタテハ→カナムグラ、ルリタテハ→サルトリイバラやホトトギスなど、ヒメアカタテハ→ヨモギ、アカタテハ→カラムシ、コムラサキ→ヤナギ類、サトキマダラヒカゲ→ササ類、イチモンジチョウ→スイカズラ、ゴマダラチョウ→エノキ、ウラギンシジミ→フジヤクズ、ツバメシジミ→シロツメクサなど、ウラゴマダラシジミ→イボタノキ、ベニシジミ→スイバやギシギシ、ヤマトシジミ→カタバミ